

新潟市立横越小学校PTA

<家庭・地域・関係団体と連携して取り組むPTA活動 >

所在地:新潟県新潟市江南区
全校児童数: 606名

学校の特徴	新潟市江南区の東側にあり、昭和51年4月に木津小学校、小杉小学校、沢海小学校、旧横越小学校の4つの小学校が統合された。「関わり合う子ども」を教育の重点目標にし、授業改善に取り組んでいる。
地域の特徴	日本有数の大河「阿賀野川」の流域にあり、校区には国の重要文化財「北方文化博物館」がある。各地域で伝統行事の神楽が行われている。校区が大変広く、学校ではスクールバスを4台使用している。

活動内容

特徴的な運営体制・活動

【役員選出方法の見直しによるPTA活動の活性化】

平成27年度に臨時のPTA総会や理事会を開きPTA役員を選出方法を変更した。28年度から今まで12地区から選出していたPTA専門部の役員を学級から選出する方法にした。人数の少ない地域は何度も役員をする反面、人数の多い地域は役員になることがないという不公平感があったからである。「一人一役 全員主役」を合い言葉に、全会員がPTA活動に参画しやすくなった。



【地域団体と連携した、6年生の卒業に向けたコサージュ作り】

地域の特産であるチューリップを使ったコサージュ作りがPTA活動として20年以上続いている。しかし、29年度より地域でコサージュに必要なチューリップ栽培が終了した。そこで地域のコミュニティー協議会や区役所建設課のサポートを受け、阿賀野川河川敷でチューリップを栽培し、コサージュ作りを行っている。5年生時に球根を植え、6年生で花を摘み、コサージュを親子で作る。卒業式でお揃いのコサージュを胸に付ける。親子の絆、地域との絆が深まる活動となっている。



○子どもたちを支えるボランティア活動

◇読み聞かせ活動◇

地域の読み聞かせグループ「お話しっこ」さんより年間を通して読み聞かせを行ってもらっている。読み聞かせの研修も実施している。



◇ありがとう集会◇

お世話になったボランティアを招待し、感謝の気持ちを伝えている。

○児童の学習とPTA活動の連携

◇3年生「地域のお宝発見」◇

地域の伝統や文化・産業に触れ、地域のよさを体験する活動に、PTAも参加して児童と地域のよさを共有し、親子の絆、地域の絆を深めている。



◇4年生「命の授業」◇

助産師グループ「JAST♡いのち」さんを招いて親子で命の大切さを学ぶ。自己肯定感を高め、家族の絆を深めている。

○その他の活動

交通安全見守り活動、PTA講演会、文化祭での体験活動（ダンス・そば打ちなど）の企画・運営、公民館と連携した地下道清掃。

成果

- ・役員選出方法の見直しにより、PTA活動への参画意識が高まった。
- ・コミュニティー協議会や区役所との連携により、協力体制を強化する仕組み作りがなされ、「コサージュ作り活動」の維持・向上が可能となった。
- ・地域団体やPTAのボランティア活動により、地域と児童、保護者の絆が深まった。

課題

- ・PTA活動がマンネリ化したり、負担になったりしないように、さらに、内容の見直しと精選を図ること。
- ・学校、地域・保護者、社会教育施設との連携をさらに充実させ、それぞれをつなぐ意図的、計画的な取組をしていくこと。

【新潟県教育委員会生涯学習推進課】

富山県立富山西高等学校PTA

<～相互理解の深化を目指して～>

所在地:富山県富山市婦中町
全校生徒数:510名

学校の特徴	地元地域の期待を受け、県立農学校として開校。時代の変化やニーズに対応した学科改編を経て普通科単独校となり、平成26年に創校90周年を迎えた。「勤労、自治、協和」を校訓に生徒の希望・適性に幅広く対応した進路実現を目指す高校。
地域の特徴	富山県中央部を流れる神通川流域に位置し、古くからのどかな田園地帯であったが、近年は、地域の経済的発展の影響から、人口増加率が県内でも著しく高まっている地域である。

活動内容

特徴的な活動

さわやか運動

県下一斉に行われるが、本校も参加者を募って独自の取り組み方で実施している。年2回、6月と10月に行われ、生徒と保護者が一緒になって、最寄りの速星駅や生徒玄関であいさつ運動を行う。本校では、隣接する速星小学校、速星中学校と合同で実施し、地域ぐるみの活動となっている。



<本校のPTAの基本理念>

新しく何かを始めるのではなく、今まで行ってきた活動への取り組み方を再考し、より多くの会員の皆さんに自発的、積極的に参加をして頂こうという「志」を持って活動している。

体育大会や学園祭はもちろん、まず保護者である自分たちが、行事等に「楽しく」参画することを常に念頭においている。



PTS座談会

保護者、教師、生徒の三者で毎年テーマを決めてフリートークを行っている。考えが定まった子もいれば、迷いながらも本音を出せる子もいる。不安なことを全く話さずに1日が過ぎていく家庭もあると思うが、そういう家庭や親にとって、子供の声や本音を直接聞けるまたとないチャンスになっている。



P(保護者)



T(教師)



S(生徒)

成果

- ・積極的な参加の呼びかけにより、さわやか運動やPTS座談会他、各PTA行事の参加者が着実に増加している。
- ・PTS座談会などの取組が、子供と親との相互理解を深める場として機能し、実際の生活場面においても親子の会話が増えた。

課題

PTAの関わり方は常に「**焦らず、比べず、諦めず**」でありたい。卒業後、社会に出たときにそれぞれの地域の方々の暮らしに貢献できるよう、子供たちの成長をしっかり見守り、相互に手を携えて教育活動に関わっていきたいと考えている。

小松市立安宅中学校PTA

< 学校・家庭・地域が一体となった活動の実施 >

所在地: 石川県小松市安宅町安宅林4-112
 全校生徒数: 174名 会員数: 181名

学校の特徴	昭和53年に開校し、各学年2学級と特別支援学級2学級の小規模校である。「智仁勇、未来を拓く生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、教育実践を進めている。「New Education Expo2018」で生徒2名が生徒会の活動について発表を行う。
地域の特徴	日本海に面した梯川の河口に位置し、古代から交通の要地として栄えた。江戸時代中頃から明治にかけて北前船の寄港地として繁栄し、風情ある町並みの中に歴史文化が色濃く残っている地域である。勸進帳の舞台となった安宅の関がある。
活動内容	平成17年には市P連で『「智・仁・勇」の精神から学ぶ安中スピリット』と題して研究発表を行った。地域に根ざした取り組みをめざし、総務委員会を中心に、育成委員会、広報委員会、厚生委員会がそれぞれの活動内容を設定し、年間通して計画的に活動を実施している。

地域に根ざした活動

町内会との連携

- ・地域の資源や環境問題に取り組む



地域や団体と連携した特徴的な活動

- ◇資源回収
7月最終日曜日
- ◇海岸清掃
年1回



◇安中ネチケット

生徒会の発案、家庭との連携
 発信



- ◇各地区の活動
- ・親子ボランティア活動
- ・防犯パトロール
- ・あいさつ運動

市内各中学校との連携 市PTA「新世代委員会」の支援

「生徒による生徒のための
 中学生サミット」の開催
 小松市保護者ネット三か条の決定



青少年健全育成 協議会との連携

- ・講演会の開催
- ・防犯パトロールの実施
- ・立志式



成果

- ・親子での地域行事参加が増え、生徒の地域社会での活動・住民との交流が活性化した。
- ・各町内との連携した「資源回収活動」により、地域ぐるみの協力体制が強化されるとともに、生徒・保護者の資源リサイクルや地域の環境問題への関心が高められた。
- ・安中ネチケット発信を機に、保護者にもインターネット適正利用推進の理解が進められた。

課題

- ・生徒数の減少により、役員選考方法の再考を行い、PTA活動の持続可能な組織づくりが必要である。

福井市松本小学校PTA

所在地：福井県福井市町屋3-14-2
全校児童数：558名

全ては子どもたちのために … 地域住民との協働と持続可能なPTA活動



地域の方々とPTAの協働
小学校の中庭「とちのきランド」
を整備

子どもたちに
楽しい空間を
提供できた

地域の方々と一緒に…

地域の方々を招いて完成披露会を開催
地域のまつりの会場として活用

持続

この空間を維持し続けたい

とちのきランド管理マニュアルの作成
中庭委員会発足
PTA, 子どもたちがメンテナンスを継続

特徴的な活動又は運営体制：
持続

- ・「とちのきランド」の持続的な維持管理の仕組み
- ・親子参加の校内清掃奉仕の実施と持続的な活動に向けた仕組みづくり

松本小学校は（学校の特徴）…

自立、共生、自律を教育理念とする中規模校。
めざす児童像は、「進んで学ぶ子 きたえる子
思いやりのある子 ゆめをもつ子」

松本地区は（地域の特徴）…

福井市中心市街地の北側に隣接する松本地区は、
住宅、学校、病院、スーパーなどバランスよく存
在する。コシヒカリ発祥の地でもある。



特徴的な活動又は運営体制：
協働

- ・小学校内の中庭「とちのきランド」の整備
に関わる地域住民との協働
- ・地域交流会を通じた学校・家庭・地域共同
の学習活動の実施
- ・子どもが楽しめる地域活動（松本まつりへ
の積極的な参加）
- ・地域連携事業（通学路除雪作業の迅速な連
携実施、合同資源回収の実施）
- ・子どもを守る活動（見守り隊への活動支援、
かけこみ所マップの作成による可視化）

成果：中庭整備等を通じた地域協働意識の醸成
地域連携、交流事業を通じた子どもたちの地域参加
見守り隊、通学路除雪等地域からの活動支援
課題：各活動への持続的取り組み



中庭は荒れていた



みんなで作った

甲斐市立敷島北小学校PTA

頑張る！ おやじ 母親たち！！

所在地：山梨県甲斐市境57番地
 全校生徒数：児童204名

学校の特徴	敷島南部地区の児童増加と北部地域の児童減少に対応するため、昭和53年4月、学区再編成によって分離(敷島小学校)統合(吉沢小学校、睦沢小学校)した新設校である。その後、昭和61年には清川小学校も本校に統合し、現在に至っている。
地域の特徴	敷島地区の面積の三分の二を占め、森林が多く、豊かな自然に恵まれているだけでなく、縄文・古墳両時代をしのばせる古い歴史を秘めた風土でもある。
活動内容	年度初めにあるPTA総会の前にPTA役員との話し合いを行い、総会での提案・了解を得る中で活動している。年3回開催されるPTA運営委員会、年数回開催される専門部活動など、それぞれの部が、自主的な活動を行っている。

特徴的な活動

JKS:〈J〉事前の相談 〈K〉こまめな連絡(懇親会) 〈S〉信頼構築

- 地域住民と連携した取組
- ◇ 棚田祭りへの協力 ◇

地元の棚田祭りで転倒するろうそくを入れるピンを各家庭の集めていただき、おやじの会を通じて提供している。



おやじの会
 年間を通じて、お米作りの指導をいただいている。
 入学式・卒業式において学校の田んぼで作った餅米で自主的にお赤飯を炊き、児童等に配布している。

母親の会
 児童会行事でポップコーンを作り、児童等に配布している。
 花壇の草取り、花植えをしてくれている。

その他
 おやじの会・母親の会のボランティアでの協力が見られる。



母親の会による生け花

おやじの会によるウサギ小屋作り



- その他の活動
- ◇ 交通安全・防犯活動 ◇
- 登校中
- 地域の方々によるあいさつ運動
- 下校中
- 老人会等による見守り活動
- 夏季休業中
- 各地区パトロール



成果

- ☆ おやじの会・母親の会により、協力体制を強化する仕組み作りがなされ、「学校行事」「地域行事」への協力が図られている。
- ☆ おやじの会により、児童の地域文化の学習がなされている。
- ☆ 母親の会により、児童の学習環境の整備がなされている。

課題

- ☆ おやじの会・母親の会ともに、個人のつながりの中で、PTAに対し、活動の声かけを行っているため、今後、児童数が減少する中で、どのように人員を確保していくか。

茅野市立永明小学校PTA

所在地：長野県茅野市／全校児童数：児童593名

< PTAと学校運営協議会が連携・協働した教育活動の実践 >

学校の特徴	今年で開校145年目を迎えました。学校目標「ともに拓く～なかよく かしく たくましく～」を掲げ、全教育活動において「つむぎ合い」をキーワードに人間関係力を育て、互いに向上する子どもをめざしています。平成25年度より全校で毎週水曜日の5校時を「つむぎ合いの時間」と設定し、友だちや教師と一緒に遊んだり活動したりしてきました。昨年度からはユネスコスクールとしても認定を受けました。世界へも発信できる学校をめざしていきます。
地域の特徴	平成27年度から始まったコミュニティスクールでは、学校運営協議会の学校運営の参画と活動のもとで地域とともにある学校づくりを進めています。「わくわくずこうデイ」には地域の方が子ども達と共に造形活動を楽しみ交流を深めています。教育活動に多くのボランティアが参加し、地域の子どもの育成に熱心に取り組んでいます。

特徴的な活動・運営体制

PTAと学校運営協議会が連携・協働した教育活動

その他の取り組み

ICT教育

プログラミング学習

- PTA ICTサポート特別委員会と学校運営協議会ICTサポート部会が連携し、パソコン教室(年6回水曜日の放課後)を実施している。対象は4、5、6年生の希望者である。
- 前期は、主にパソコン上でスクラッチを使ったプログラミング学習を行う。後半は、ロボットとタブレットを使いプログラミングでロボットの操作を体験する。
- 講師に学校運営協議会のICTサポート部会から学校支援ボランティア(大学講師や地域の方、大学生)を招き、ICT教育を実践している。



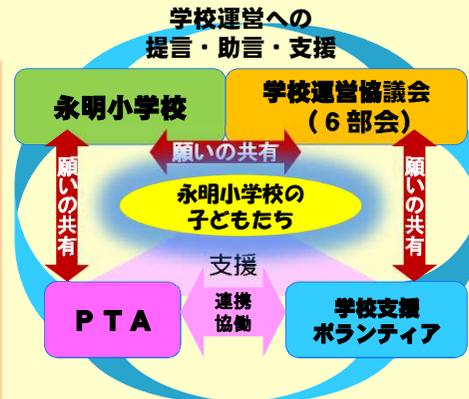
地元の新聞で紹介される

ネットマナー講習会

- PTA ICTサポート特別委員会と学校運営協議会ICTサポート部会が連携して4、5、6年生・保護者を対象にネットマナー講習会を開催している。



プログラミングされたロボットを操作する子ども達



ESD教育

「永明の日」つむぎ合い講座

- 学校公開日「永明の日」において、PTAと学校運営協議会のつむぎ合い部会が連携して「つむぎ合い講座」を開講している。
- 平成29年度は国際理解をテーマに茅野市在住のベルギー出身の方から地域と積極的に繋がりに生きる大切さを学んだ。



資源回収・ベルマーク収集

PTA資源物回収を年1回実施し、地域の資源物を回収し、換金して児童の教育活動に役立てている。またPTA施設委員会と児童会のベルマーク委員会が連携してベルマークを集め、ESDの視点での環境教育を行っている。平成18年度には県内で初めて800万点を達成し、表彰された。

あいさつ運動

PTA校外指導部を中心に、あいさつ運動を呼びかけ、実践している。春秋2回の全国交通安全週間及び月2回の街頭指導時において、児童が自発的にあいさつできるよう、PTAがお手本となり積極的にあいさつをし、声をかけている。また、地区子ども会においても、地域の方にあいさつができるよう声がけをしている。

地区行事への参加

地区の行事に参加したり、清掃活動など環境整備に取り組んだりすることで、地域の一員としての自覚を持ち、地域を大切にできる児童を育てている。

読書教育

読み聞かせボランティア

- PTAと学校運営協議会の地域交流部会が連携して、読み聞かせボランティアを立ち上げ、平成12年度から月に1回、毎朝の読書の時間に、全学級で本の読み聞かせを実施している。



安全教育

子ども見守り隊

- 子ども達の交通安全や不審者対策のため年間を通じて学区内を見回っている。また、地区の老人会と連携して下校時の安全指導を行っている。さらに、学校運営協議会の安全教育部会と連携して「子どもを守る安心の家」を含めた安全マップを更新し、地域全体で子どもの見守りをしている。

成果

学校運営協議会の学校運営への参画と活動のもとで、PTAと学校運営協議会の6部会が連携し、プログラミング学習や読み聞かせ、つむぎ合い講座、子ども見守り隊などの活動を行うことで、PTA、地域、学校間の連携がスムーズに行われ、保護者や地域が学校と一体となって協働することができた。また、PTA活動に地域の教育力を生かすことができ、子ども達にとってより質の高いPTA活動を実践することができた。

課題

PTAと学校運営協議会との連携・協働を土台として、子どもの育ちを中心においたより質の高いPTA活動となるよう模索していきたい。

岐阜県立中津高等学校PTA

<保護者と学校とで連携し、生徒理解の推進と進路目標達成の実現へ>

所在地：岐阜県中津川市 1088-2

全校生徒数： 598 名

学校の特徴

明治 39 年中津高等女学校として開校。平成 19 年に単位制普通科に改編され、平成 27 年に創立 110 周年を迎えた岐阜県東濃地区を代表する伝統的な進学校である。

地域の特徴

中山道の宿場町として栄えた地域であり、歴史の面影のある町並みが残っている。中津川市は「くりきんとん」をはじめとして和菓子が有名であり、歴史の香りや和菓子を求め、多くの観光客が訪れている。2027 年にはリニア中央新幹線の駅が出来る予定で、これを町の発展にどう活かすかの議論が盛んである。

中津高等学校PTAの活動

生徒理解のための活動

保護者による食品バザー

毎年6月の学園祭一日目にPTA主催で実施。本部役員と地区役員が協力し、焼きそば、カレーライス等を調理し、中津高校生をはじめ、学校祭を見学に来たお客様に提供している。



朝の挨拶運動

8月末及び10月初旬の各二日間、朝の登校時に、本部役員が担当職員と生徒代表の数名とともに学校玄関前に立ち、登校して来る生徒に対して声をかけている。



進路目標達成のための活動

進路サポート勉強会

進路指導部と渉外部、PTA本部役員が協力して年8回、平日の夜7時から実施している。保護者に対し、進学に関する様々な情報を提供している。



親子で行くオープンキャンパスバスツアー

7月又は8月の一日を使って、近隣大学のオープンキャンパスに親子で参加している。親子で進路について考えるきっかけとしている。



成果

保護者や近隣住民の学校に対する協力・理解の体制が強化された。本校の特色及び魅力づくりの一つとなり、少子化の現在においても本校への人気は高く、毎年定員以上の中学生が受検している。

課題

地域の少子化が進む中、入学定員の確保・維持を目的として、更なる本校の魅力発信のための協力体制の在り方が課題である。



『地域・近隣校』を巻き込んだ **生徒の育成** (学校・地域・保護者の三位一体による)

所在地: 静岡県沼津市
全校生徒数: 570名

学校の特徴	昭和22年に沼津市立第一中学校として開校し、23年に金岡中学校として独立した。小学校2校と本校の「金岡校区」教育目標である『豊かな心を持ち、「自立」を目指すたくましい子』を地域コミュニティが一体となって育て、沼津No1の学校を目指している。
地域の特徴	沼津市は、北に富士、南に駿河湾を望む、伊豆半島の付け根に位置する静岡県東部地域の中心都市。古来、東海道の陸路と海路を繋いだ交通拠点で、人、物、情報が多い交流拠点。市内中心部北に位置する住宅地で、地域の人々のつながりも深い。

学校の特徴

昭和22年に沼津市立第一中学校として開校し、23年に金岡中学校として独立した。小学校2校と本校の「金岡校区」教育目標である『豊かな心を持ち、「自立」を目指すたくましい子』を地域コミュニティが一体となって育て、沼津No1の学校を目指している。

地域の特徴

沼津市は、北に富士、南に駿河湾を望む、伊豆半島の付け根に位置する静岡県東部地域の中心都市。古来、東海道の陸路と海路を繋いだ交通拠点で、人、物、情報が多い交流拠点。市内中心部北に位置する住宅地で、地域の人々のつながりも深い。

特徴的な活動・運営体制

“明るく楽しく” 主体的なPTA活動

○学校・地域・保護者一体の教育環境づくり
“明るく、楽しく”をモットーに、運営は常任理事(33名)が行い、部員・地区長(107名)とあわせ140名の役員を中心に、地域や近隣校とともに、懇談会や研修、SNS対策、地域行事など、主体的な活動を展開。広く多くの会員が参画している。

○保護者の知りたい・伝えたい! を、広報誌に
PTA活動、先生紹介、学校行事、進路情報等充実した情報の広報誌を作成し、地域にも配布。PTA役員 **活動前後のアンケート**では、役員をやる前とやった後の心境の変化として、「仲間ができてよかった」といった感想が多く、「思ったほど大変じゃない」「達成感や充実感を感じた」などの感想も楽しく紹介。

知って納得! SNS

～ SNS対策委員会 ～

生徒を取り巻くSNS問題にPTAとして近隣校と取り組み、その活動を、他の地区、市全体へ広めた。

編集会議は SNSも利用!

市内10校で実施中!



○地域と連携した取組

◇自治会協力の「地区懇談会」
PTAと地域自治会が連携して実施。各地区ならではの細かい不安要素や、問題点などを浮き彫りにし、地域・学校・保護者が三位一体となり意見交換し、問題改善に向けて取り組む。

◇地域コミュニティとの協力
コミュニティ祭りにPTAが参画。近隣校と合同で教育講演会も開催。




成果

- ・地域自治会や近隣校との連携を広げ、地域の教育力向上や課題解決につながっている。
- ・「明るく楽しくPTA活動」を実践し、その活動を会員や地域に広く伝える広報活動を充実させ、生徒の育成と保護者の生涯学習となる持続的な活動を展開している。

課題

- ・継続的な活動のための人材育成。
- ・活動費用や広報費用の確保。
- ・新しい活動における自治会、地区センター等地域の理解。

春日井市立岩成台小学校PTA

家庭教育とコミュニケーションの視点でPTA活動を活性化

所在地：愛知県春日井市岩成台6-3
全校児童数：児童201名

学校の特徴 本校は、春日井市の東北部、高蔵寺ニュータウンの一角に昭和47(1972)年に開校し、今年46周年を迎える。各学年1クラス、特別支援クラス2クラスの小規模校だが、学習と学校生活の基礎・基本を大切にしている。

地域の特徴 学区内は住宅地域だが、大型商業施設が隣接し、学区内の中央には愛知用水が流れ、近くには高座山や新池公園といった緑豊かな景観を有している。自主パトロール組織、社会福祉協議会など、地域の組織も学校に協力的である。

活動内容

特徴的な活動

地域の方の力を活用

地域の様々な職業の方や趣味、特技、知識、経験を持つ方を「岩小応援団」として募り、20分の休憩時間に子ども達のためのコンサートや教室を開くことを目的とする「ハッピータイム」を創設した。

○地域とのコミュニケーションの発展

将棋教室の先生は、「ハッピータイム」参加をきっかけにあいさつ運動に参加するようになった。また「大正琴によるミニコンサート」を手伝った保護者が講師の方から大正琴を習い、子ども達の前で披露することになった。

○保護者アンケートにみるコミュニケーション

コンサートなど観賞系の催しでは、「楽しかった」「すごい！」といった感動を家で話した子どもが多かった。その他の催しでも「やってみた」「面白かった」という会話が多くみられた。

ハッピータイム

【開催内容】

- ・クラリネットとピアノによるミニコンサート
- ・大正琴によるミニコンサート(保護者参加型も含む)
- ・東インド舞踊オディッシー
- ・折り紙仙人の折り紙教室
- ・昔遊び教室
- ・将棋教室(低学年)
- ・将棋教室(高学年)
- ・はやね はやおき あさごはん(食育)

○工夫している点

- ・開催内容は、子ども達が参加しやすいように「観賞系」「体験系」「講演系」の形をとった。内容によっては、人数制限、低学年と高学年を分ける、といった形もとった。



○地域住民と連携した取組

◇地域の社会福祉協議会との連携◇

社会福祉協議会とPTA共催の「愉快的な音楽会」では、校区の中学校と小学校が協力して、児童生徒の美術作品を展示し、音楽とのコラボを実現した。地域の方々から「心が癒やされた」などの感想を得た。



○「食育」の推進

「給食試食会」において、地域の食文化や各家庭の食事について、学校栄養職員とともに考えた。



○その他の活動

防災のつどいとふれあい芋煮会、岩小安全パトロール、運動会準備ボランティア、読み聞かせ、読書週間、ふれあい野球教室 など

成果

- ・あいさつ運動は、子ども達にあいさつを促すだけでなく、学校との連携が深まった。
- ・PTA刊行物は、内容等の改善によって、より親しみをもって読まれるようになった。
- ・「岩小応援団」「ハッピータイム」の創設は、地域とのふれあいの機会を提供するとともに、家庭での会話を促進することができた。
- ・PTAとして、学校、家庭、地域に対し、一つ一つのコミュニケーションを大事にすることで、家庭教育にとって良好な環境を作り出せることを実感することとなった。

課題

- ・「ハッピータイム」は、子どもを対象としたことで、より幅広く家庭に届く活動に発展する可能性を感じさせた。この可能性をどう広げ持続していくかが課題である。
- ・PTA刊行物は、マンネリに陥らないようにPTAの情報発信能力を磨く必要がある。

【愛知県教育委員会生涯学習課】

鈴鹿市立神戸中学校 保護者と教職員の会



< 地域と協働したPTA活動 >

所在地：三重県鈴鹿市十宮町 1335

全校生徒数：835 名

学校の特徴	昭和 22 年に鈴鹿市立第四中学校として設置認可があり、昭和 24 年 4 月、校名を鈴鹿市立神戸中学校と改称する。校舎の老朽化に伴い平成 20 年 10 月新校舎を起工、平成 22 年 8 月より竣工する。デザイナーズ建築の様相で多額の費用を投資し公立の中学校としては東海地区随一の近代的な魅力あふれる新校舎となった。
地域の特徴	古くは城下町として栄え、現在では市役所、教育委員会のお膝元の中学校である。老舗の店舗が軒を連ねる反面、農業経営者も多く自然豊かな地域でもある。また、校区には解放センターや人権センター等の施設もある。近年では外国人労働者の流入も多く、70 人ほどの外国籍生徒が在籍をしている。

PTA環境部 廃品回収

PTA、教職員、生徒、地域が共同で廃品回収に取り組んでいる。PTA役員や環境部員と教職員が地域の個人商店を中心に大型量販店を含めダンボール・新聞紙・雑誌等の資源ごみを回収している。

平成 29 年度までは 6 月と 11 月に実施してきたが、回収作業の労力が過大であるという反省から平成 30 年度からは年 1 回 11 月開催に変更した。

しかし、地域や保護者からの資源ごみの回収の要望もあり、コンテナを常設して常時、資源ごみの回収を可能にした取り組みをしている。



剣道部の生徒とパッカー車へ資源ごみのバケツリレー



常設されたコンテナ

町づくり協議会 除草作業参加

町づくり協議会の活動で近隣の考古学博物館と本校の環境整備活動（除草作業）を年間 2 回取り組んでいる。PTA活動として生徒の登下校や活動の安全安心のために地域の方と協働して取り組んでいる。



河曲町づくり協議会と協働した除草作業

食育 お弁当の日

平成 27 年度より中学校給食が始まり食育分野で「生徒が作る弁当の日」を設定して毎年取り組んでいる。

平成 28 年度には全国 PTA 研究発表会東海北陸ブロック名古屋大会にて食育の発表を行い、平成 29 年度には全国 PTA 協議会より表彰を受けた。



保護者の協力で生徒が作った弁当

【成果】 食育の活動については PTA と家庭科が共同で継続して取り組んでいることもあり、平成 29 年度には「みえの地物が一番！朝食メニューコンクール 中学生の部」で三重県チャンピオンの生徒を育成することができた。PTA の行事や取り組みを毎年振り返り、改善することで継続的な取り組みができています。また、町づくり協議会に協力することで地域とのつながりも強くなってきています。

【課題】 環境部の他に、広報部、行事部、美化部の活動があり、毎年継続して各部の行事が行われているが、一般会員の参加率が年々、少しずつ低くなってきている。それぞれの部会で活動内容に工夫を行い、魅力ある活動を提供していきたい。